

R 8 前期 学校評価アンケートについて

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果を抜粋して報告します。表示している割合は、肯定的な回答（とても思う・そう思う）の割合です。

【学校教育目標】

個性をみがき たくましく生きる すはまっ子の育成

【めざす子ども像】

- ㊟ すんで活動し 認め合う子ども
- ㊦ はげまし合い 心身づくりに取り組む子ども
- ㊧ なびを深め 高め合う子ども

【すんで活動し、認め合う子ども】 における顕著な結果

- ① 自分の長所がわかる。
 - 子ども 74%
 - 保護者 84%
- ② 周りの友達は、自分のよいところに気付いてくれている。
 - 子ども 77%
 - 保護者 93%
- ③ 周りの人に感謝して、その気持ちを伝えている。
 - 子ども 87%
 - 保護者 78%

①と②の結果から、保護者の皆様が温かい眼差しでお子様のよいところを見守ってくださっていることや、友達関係への信頼が育っていることがわかります。子ども自身の自己評価も、学校やご家庭で温かい声かけを受けながら、少しずつ高まっている（昨年度前期は、②の子どもの結果が 70%でした）ところです。また、③の結果から、子どもたちは心の中で感謝の気持ちを持っているものの、ご家庭で言葉や態度にして表現することには、まだ照れや難しさを感じているのかもしれません。

【はげまし合い 心身づくりに取り組む子ども】 における顕著な結果

- ① 自分から元気なあいさつをしている。
 - 子ども 73%
 - 保護者 70%
- ② 整理整頓を心がけ、そうじに一生懸命とりくんでいる。
 - 子ども 87%
 - 保護者 57%
- ② 運動や外遊びに取り組み、体力づくりをしている。
 - 子ども 80%
 - 保護者 80%

①の結果から、朝のあいさつ運動や小中合同のあいさつ活動などの活動が少しずつ成果につながっている（昨年度前期は、子ども 66%、保護者 67%でした）ものの、子どもも保護者の皆様も「もう少しできそう」と同じ課題感を持っていることがわかります。

②の結果から、子どもたち自身は掃除ができていると思っているものの、実際は思っているほどできていない状況であることがうかがえます。

③の結果から、健康・体力づくりの項目は 80%の高い肯定率でした。運動会や表現運動発表会などの行事や日々の体育学習を通して、運動への前向きな意識が高まったと考えられます。

【学びを深め 高め合う子ども】における顕著な結果

- ① 学習した内容の、わかった点やわからなかった点を見直し、次の学習につなげようとしている。

子ども 81%

保護者 56%

- ② 自分で計画を立てて、予習や復習などの家庭学習に取り組んでいる。

子ども 71%

保護者 42%

①と②の結果から、子どもたちは日々の宿題や家庭学習に「自分なりに頑張っている」と感じているようです。一方で、保護者の皆様から見ると、自ら計画を立てて学習に向かう姿勢や、学習内容をしっかり振り返って身に付けるという点は、伸びる力が十分にあると期待されていることがわかります。

<後期に向けた取組>

【すすんで活動し、認め合う子ども】

- 周りの友達とコミュニケーションをとる機会を増やして、互いによさを認め合ったり、感謝の気持ちを言葉で伝え合ったりできるような活動を行いたいと思います。また、友達のいいところを見つけて紹介する機会を増やし（「いいところさがし」）、互いのよさに気付けるようにしていきます。ご家庭でも、お子様の努力やよいところを積極的に言葉にして褒めていただき、自己肯定感を育んでいただくようお願いいたします。

【はげまし合い 心身づくりに取り組む子ども】

- あいさつや整理整頓など、一つ一つの行動を丁寧に指導していきたいと思います。特に、あいさつについては、セーフティウォッチャーさんにご協力をいただいたり、小中合同のあいさつ運動に取り組んだりしているところですので、自ら進んでできるように引き続き声をかけていきます。ご家庭でも「おはよう」「いってらっしゃい」などの温かい言葉かけや、一緒に整理整頓をするなど、基本的な生活習慣が身に付くようにご協力をお願いいたします。
- 前期に行った「千葉市食育おむすびプロジェクト」や現在取り組んでいる「子どもの健康応援イニシアティブ」を通して、子どもたちの食と健康への意識を高めていきたいと思います。さらに、後期は運動習慣の定着を図るため「運動強化月間（鉄棒・縄跳びなど）」を設定します。ご家庭でも、引き続き運動や食生活に関するお声がけをお願いいたします。

【学びを深め 高め合う子ども】

- 昨年度に引き続き、各単元や各時間の終わりに学習について振り返る機会を設けたいと思います。また、お子様一人一人の苦手克服や、長所の伸長につながるように、ギガタブを効果的に活用いたします。ご家庭でも、お子様が学習で使ったノートやドリル、ギガタブでの取組を見ていただき、励ましたり称賛したりしていただければと思います。